

受付印	
収入印紙	800円
予納郵便切手	円

居住用不動産処分許可申立書 (この欄に収入印紙800円を貼る) (貼った印紙に押印しないでください。)
--

準口頭	関連事件番号	令和	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

家庭裁判所 御中 年 月 日	申立人の 署名押印 又は記名押印	(印)
-----------------------------	------------------------	-----

添付書類	<input type="checkbox"/> 契約書(案), <input type="checkbox"/> 処分する不動産の全部事項証明書(既に提出済みの場合は不要) <input type="checkbox"/> 不動産業者作成の査定書【売却する場合】, <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ※後見登記事項に変更がある場合は <input type="checkbox"/> 住民票の写し, <input type="checkbox"/> 戸籍謄本
------	---

申 立 人	本籍	都道 府県
	住所	〒 - 電話 () () 方
	連絡先	電話 () () 方
	フリガナ 氏名	大正 昭和 年 月 日生 平成
	職業	
	本 人 (成年被後見人・被保佐人・被補助人)	本籍
住所		〒 - 電話 () () 方
連絡先		電話 () () 方
フリガナ 氏名		大正 昭和 年 月 日生 平成
職業		

(注) 太枠の中だけ記入してください。
該当する部分の口(チェック)をしてください。

申 立 て の 趣 旨													
※ 申立人が <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">1 成年被後見人</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">2 被保佐人</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">3 被補助人</td></tr> </table> の居住用	1 成年被後見人	2 被保佐人	3 被補助人	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">(1) 建物</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">(2) 敷地</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">(3) 建物及び敷地</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">(4) 区分建物</td></tr> </table> につき	(1) 建物	(2) 敷地	(3) 建物及び敷地	(4) 区分建物	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">ア 別紙売買契約書(案)</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">イ 別紙賃貸借契約書(案)</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">ウ 別紙(根)抵当権設定(案)</td></tr> <tr><td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">エ その他()</td></tr> </table>	ア 別紙売買契約書(案)	イ 別紙賃貸借契約書(案)	ウ 別紙(根)抵当権設定(案)	エ その他()
1 成年被後見人													
2 被保佐人													
3 被補助人													
(1) 建物													
(2) 敷地													
(3) 建物及び敷地													
(4) 区分建物													
ア 別紙売買契約書(案)													
イ 別紙賃貸借契約書(案)													
ウ 別紙(根)抵当権設定(案)													
エ その他()													
のとおり <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">a 売却</td> <td style="padding: 0 10px;">b 賃貸</td> <td style="padding: 0 10px;">c 賃貸借の解除</td> <td style="padding: 0 10px;">d (根)抵当権の設定</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">e その他()</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> をすることを許可する旨の審判を求める。			a 売却	b 賃貸	c 賃貸借の解除	d (根)抵当権の設定	e その他()						
a 売却	b 賃貸	c 賃貸借の解除	d (根)抵当権の設定										
e その他()													

申 立 て の 実 情
居 住 用 不 動 産 の 処 分 を 必 要 と す る 理 由
※ <ol style="list-style-type: none"> 1 親族に引き取り扶養されることとなったので、居住用不動産が不要となった。 2 施設に入所することとなったので、居住用不動産が不要になった。 3 施設入所資金の捻出のために、処分が必要になった。 4 医療費、生活費等の捻出のために、処分が必要になった。 5 建物が老朽化し、維持していると経費がかさむ。 6 その他 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

居 住 用 不 動 産 の 処 分 に つ い て の 本 人 の 同 意 の 有 無

※ 1 ある。 2 ない。 3 確認できない。

本人の今後の居住場所	本人の今後の住所, 施設所在地
※ <ol style="list-style-type: none"> 1 病院 2 老人ホーム 3 親族と同居 4 転居 5 変更なし 6 その他 	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

(注)※の部分は、あてはまる番号等を○で囲んでください。その他を選んだ場合は、具体的に内容を記入してください。